



2017年3月期決算説明会 (2016年4月1日～2017年3月31日)



2017年5月12日
Global Logistics Partner
株式会社 近鉄エクスプレス
kintetsu world express

■ 2017年3月期決算概要 及び2018年3月期通期業績見通しについて

- 02 2017年3月期の業績
- 03 営業収入と原価・販売管理費の比較
- 04 貸借対照表-1
- 05 貸借対照表-2
- 06 キャッシュ・フロー計算書
- 07 営業収入・営業利益のセグメント別内訳
- 08 セグメント別営業利益率
- 09-11 2017年3月期 セグメント別 概況
- 12 営業収入の事業別内訳
- 13 輸送モード別の営業粗利益率
- 14 2018年3月期業績見通し(予想)
- 15 2018年3月期業績予想の
事業別・セグメント別内訳

■ 今後の事業拡大に向けた施策

- 17 中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要
- 18 中期経営計画3ヵ年の実績と目標値(2017年5月11日修正)
- 19 セグメント別営業収入・
営業利益の目標(2017年度、2018年度)
- 20 基本的な戦略
- 21 KWEとAPLLの協業の方向性
- 22-23 2017年度の重点施策
- 24 配当について

■ 参考資料

- 26 セグメント別物量実績(航空)
- 27 セグメント別物量実績(海上)
- 28 航空輸送物量取扱実績(仕向地別構成比)
- 29 当社グループのグローバル・ネットワーク

2017年3月期の業績

件数(千件) 重量(千トン) 容積(千TEU) 金額(百万円)

項目	2016年3月期実績		2017年3月期実績		2018年3月期予想 (2017年5月11日修正)
		前期比増減率(%)		前期比増減率(%)	
航空輸出重量	457	△4.4	495	8.4	510
航空輸入件数	1,208	△2.0	1,207	0.0	—
海上輸出容積	455	14.9	556	22.3	581
海上輸入件数	238	1.0	245	2.9	—
営業収入	420,252	28.4	474,330	12.9	500,000
営業総利益	71,762	36.5	85,014	18.5	—
営業利益	15,356	△7.3	13,075	△14.9	13,500
経常利益	17,907	△2.8	13,036	△27.2	13,000
税金等調整前 当期純利益	17,847	9.0	12,486	△30.0	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (旧: 当期純利益)	9,773	△6.8	4,487	△54.1	5,000

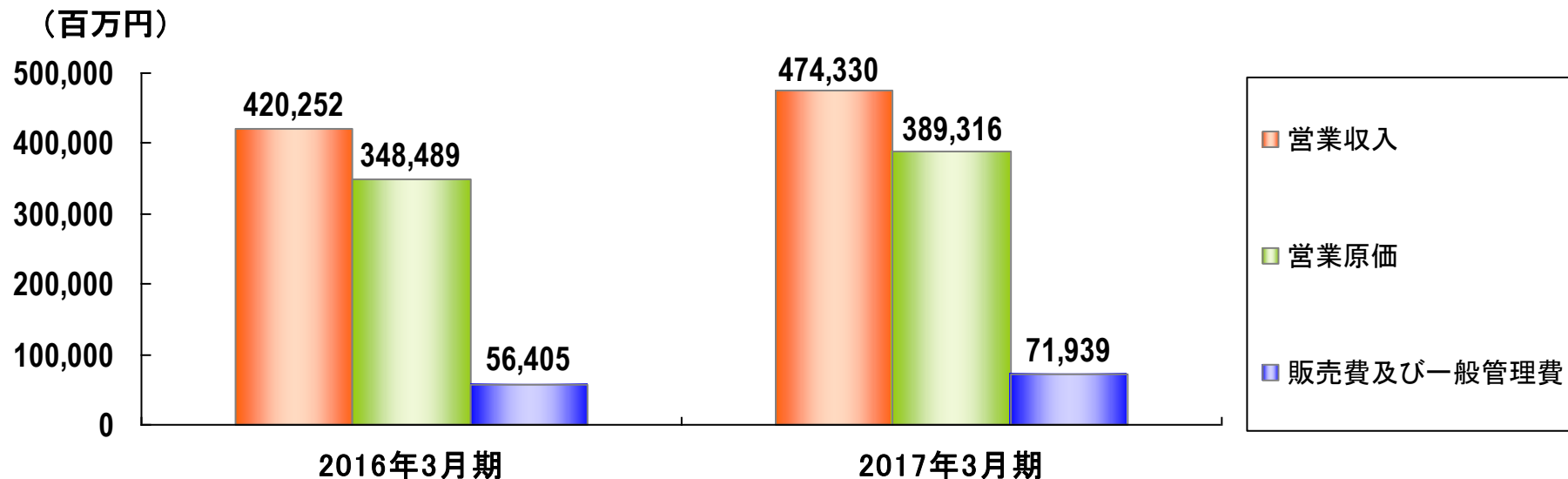
適用レート	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期
対USDドル	121.05円	105.29円	108.38円
対EURO	134.31円	118.15円	118.79円
対香港ドル	15.61円	13.57円	13.97円
対中国元	19.22円	15.94円	16.11円

指標	2016年3月期	2017年3月期
EPS	135.74円	62.33円
BPS	1741.44円	1,627.84円
ROE	7.9%	3.7%

※2 APLLの事業上の損益は、2016年3月期第3四半期から連結対象としています。

※1 今期より連結子会社の決算期をAPLLを除き12月から3月に統一したため収支・物量ともに3カ月のずれがあり、今期は2016年4月から2017年3月、前期は2015年1月から12月の実績となります。

営業収入と原価・販売管理費の比較



(百万円)

	2016年3月期	対営業収入比	2017年3月期	対営業収入比
営業収入	420,252	100.0%	474,330	100.0%
営業原価	348,489	82.9%	389,316	82.1%
販売費及び一般管理費	56,405	13.4%	71,939	15.2%
営業利益	15,356	3.7%	13,075	2.8%

貸借対照表－1

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	178,454	178,101	△353
固定資産	207,447	201,142	△6,304
有形固定資産	45,944	46,109	165
無形固定資産	134,117	128,049	△6,068
投資その他の資産	27,386	26,983	△402
資産合計	385,902	379,244	△6,657
(負債の部)			
流動負債	98,406	104,450	6,043
固定負債	152,296	148,777	△3,518
負債合計	250,703	253,228	2,525
(純資産の部)			
純資産合計	135,199	126,016	△9,183
負債純資産合計	385,902	379,244	△6,657

貸借対照表-2

■有利子負債

(百万円)

2016年3月期	2017年3月期	前期比金額
165,510	165,677	+167

■設備投資額

(百万円)

2016年3月期	2017年3月期	前期比金額	2018年3月期 (予想)
7,112	6,319	△793	10,130

◆主な投資 (2017年3月期)

- ・ 物流施設関連(日本、南アフリカ、APLL等)、IT・ソフトウェア関連、車両等

◆主な投資予定 (2018年3月期)

- ・ 物流施設関連(日本、タイ、APLL等)、IT・ソフトウェア関連、車輛等

■減価償却費

(百万円)

2016年3月期	2017年3月期	前期比金額
5,255	7,095	+1,840

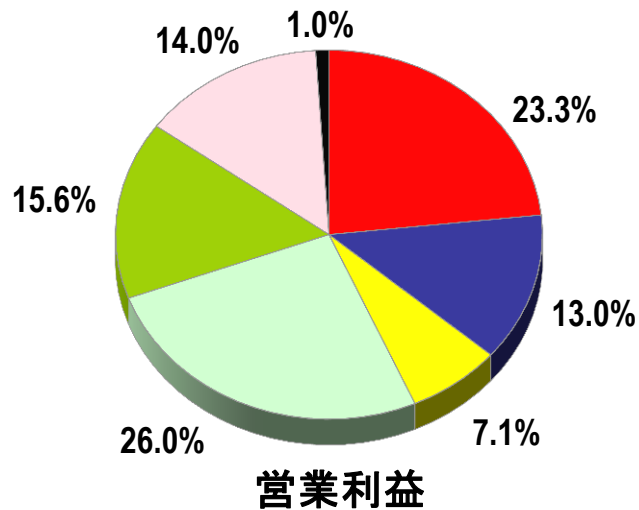
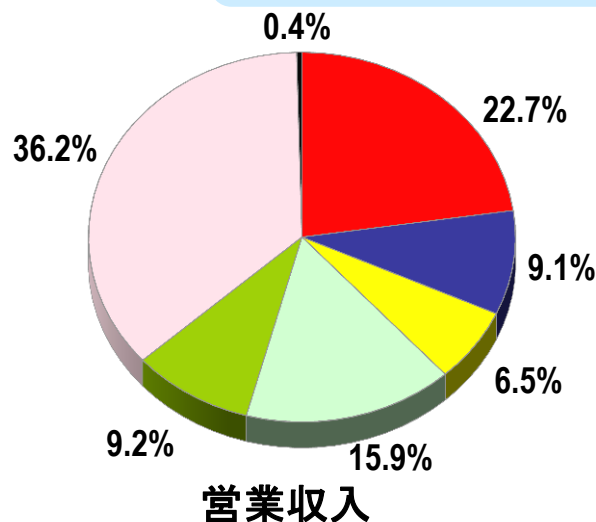
キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,143	14,589	△5,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,207	△5,342	141,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,744	△5,657	△150,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,476	△1,418	1,058
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,203	2,172	△13,031
現金及び現金同等物の期首残高	48,700	63,903	15,203
現金及び現金同等物の期末残高	63,903	65,506	1,602

営業収入・営業利益のセグメント別内訳

セグメント別構成比 (2017年3月期)



為替による影響額(連結)
 営業収入: △40,926百万円
 営業利益: △1,977百万円

(百万円)

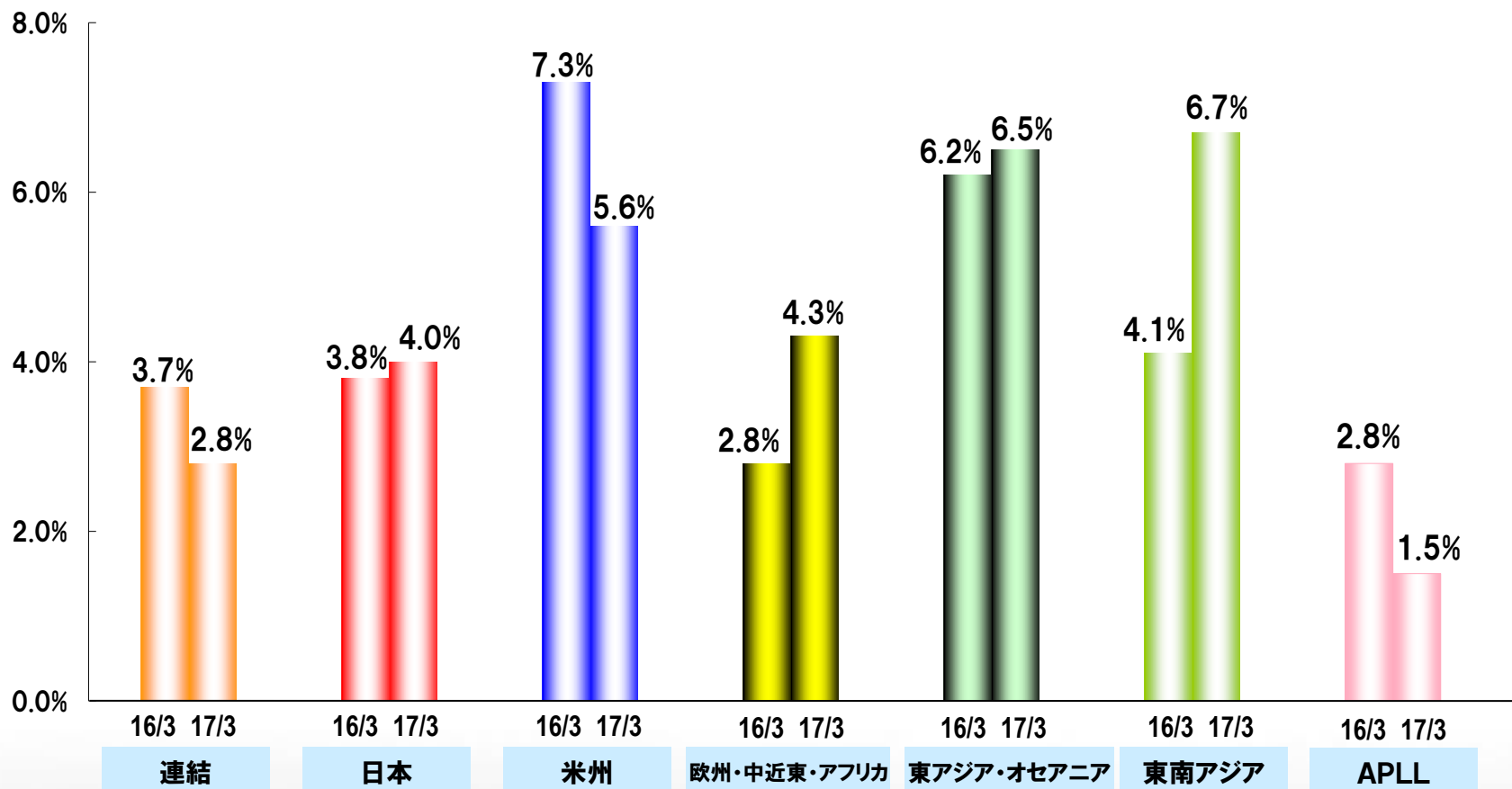
セグメント別	営業収入	前期比増減率	営業利益	前期比増減率
日本	110,344	0.8%	4,440	7.6%
米州	44,240	△14.8%	2,486	△34.2%
欧州・中近東・アフリカ	31,442	△12.6%	1,357	36.8%
東アジア・オセアニア	76,958	△15.7%	4,969	△11.6%
東南アジア	44,830	△4.2%	2,985	54.8%
APLL	175,660	—	2,671	—
のれん等の償却	—	—	△6,024	—
その他	1,961	△7.0%	182	△40.9%
調整額	△11,108	—	5	—
合計	474,330	12.9%	13,075	△14.9%

※APLLは2015年度第3四半期より連結しているため、2015年度と2016年度の比較は省略しております。

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

セグメント別営業利益率

2016年3月期／2017年3月期
(実績)



※APLLは、のれん等償却前の営業利益率です。

2017年3月期 セグメント別 概況

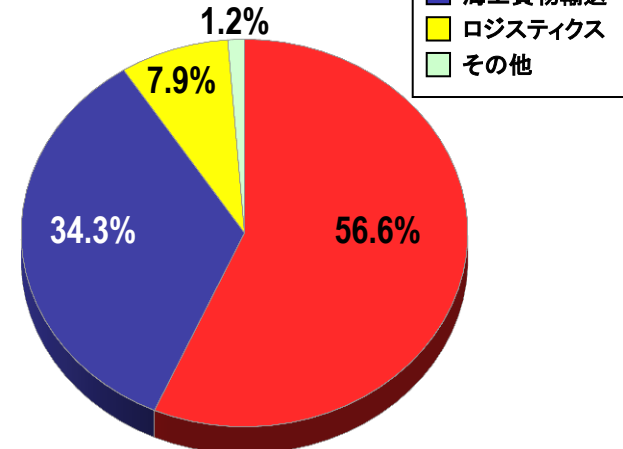
日本

単位:百万円

	2016/3	2017/3	増減額
営業収入	109,427	110,344	917
営業利益	4,127	4,440	313

- ・ 単体は航空輸送で期前半は苦戦、期後半からはエレクトロニクス関連品の輸送需要の活況により回復。
- ・ 国内関係会社は期を通じて好調に推移。

営業収入の事業構成比



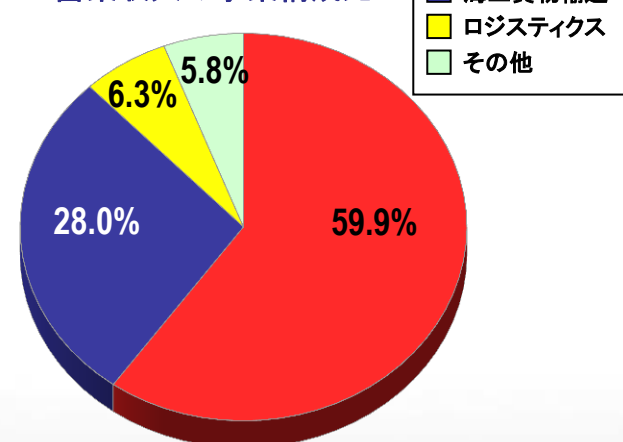
米州

単位:百万円

	2016/3	2017/3	増減額
営業収入	51,914	44,240	△7,674
営業利益	3,778	2,486	△1,291

- ・ 前期の米国西岸向け航空輸送増加の反動減が影響。
- ・ 為替影響
営業収入: △5,976百万円 営業利益: △461百万円

営業収入の事業構成比



2017年3月期 セグメント別 概況

欧州・中近東・アフリカ

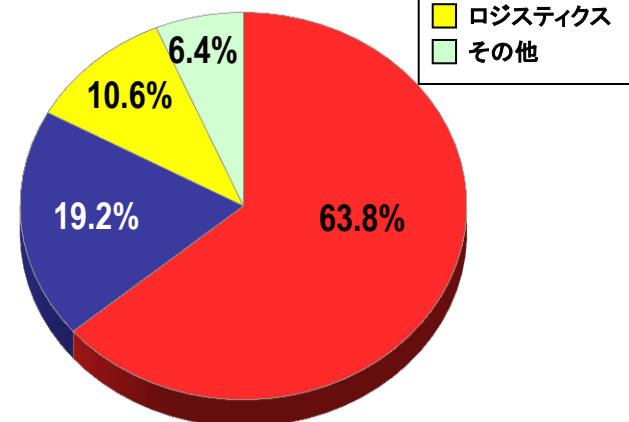
単位：百万円

	2016/3	2017/3	増減額
営業収入	35,975	31,442	△4,533
営業利益	992	1,357	365

- ・ドイツ、ロシアが不振、英国、フランスが好調に推移。
- ・為替影響

営業収入：△5,214百万円 営業利益：△150百万円

営業収入の事業構成比



東アジア・オセアニア

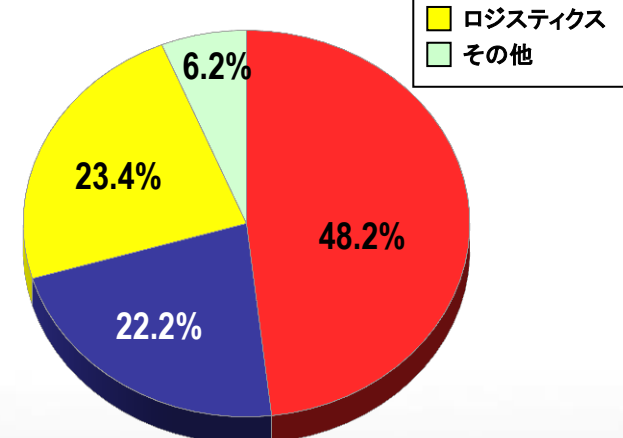
単位：百万円

	2016/3	2017/3	増減額
営業収入	91,286	76,958	△14,328
営業利益	5,621	4,969	△651

- ・航空物量の伸び悩みと航空運賃仕入れの高止まりが影響。ロジスティクスは好調に推移。
- ・為替影響

営業収入：△13,074百万円 営業利益：△803百万円

営業収入の事業構成比



2017年3月期 セグメント別 概況

東南アジア

単位：百万円

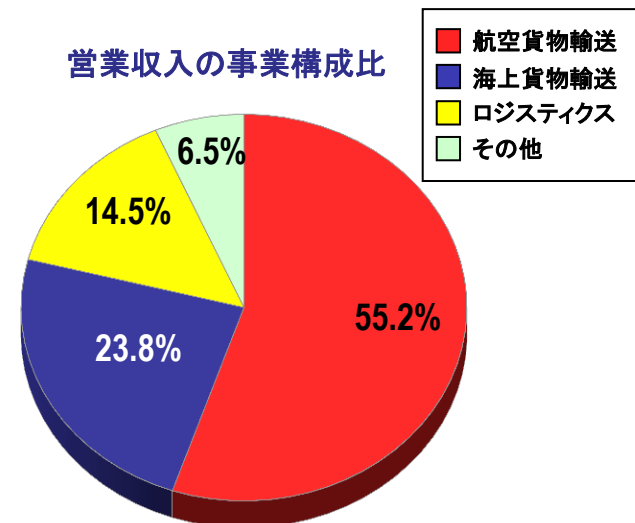
	2016/3	2017/3	増減額
営業収入	46,797	44,830	△1,966
営業利益	1,928	2,985	1,057

・ 航空、海上、ロジスティクスともに取扱いが拡大、予想を上回って好調に推移。

・ 為替影響

営業収入：△6,347百万円 営業利益：△246百万円

営業収入の事業構成比



APLL

単位：百万円

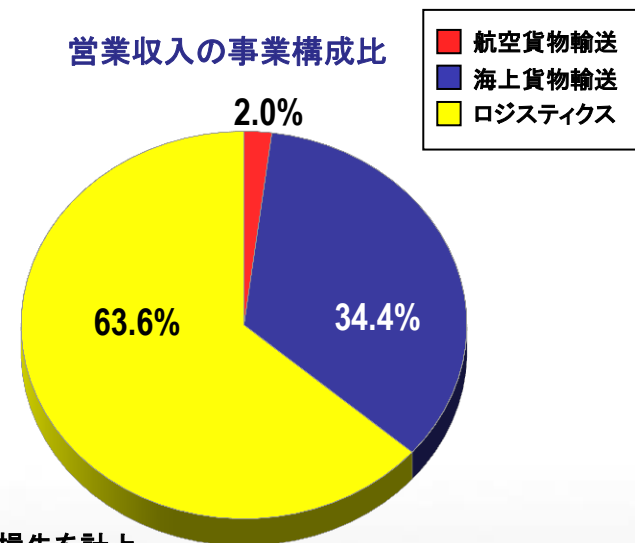
	2016/3	2017/3	増減額
営業収入	94,401	175,660	81,259
営業利益	△1,404	△3,353	△1,949

・ 自動車関連の物流サービスは、米国・メキシコ間の部品物流やインドでの完成車輸送の取扱いが拡大。リテール、消費財、インダストリアル関連の物流サービスは、総じて前年並みで推移。

・ 海上貨物輸送は、市況の低迷と取扱物量の減少により低調に推移。

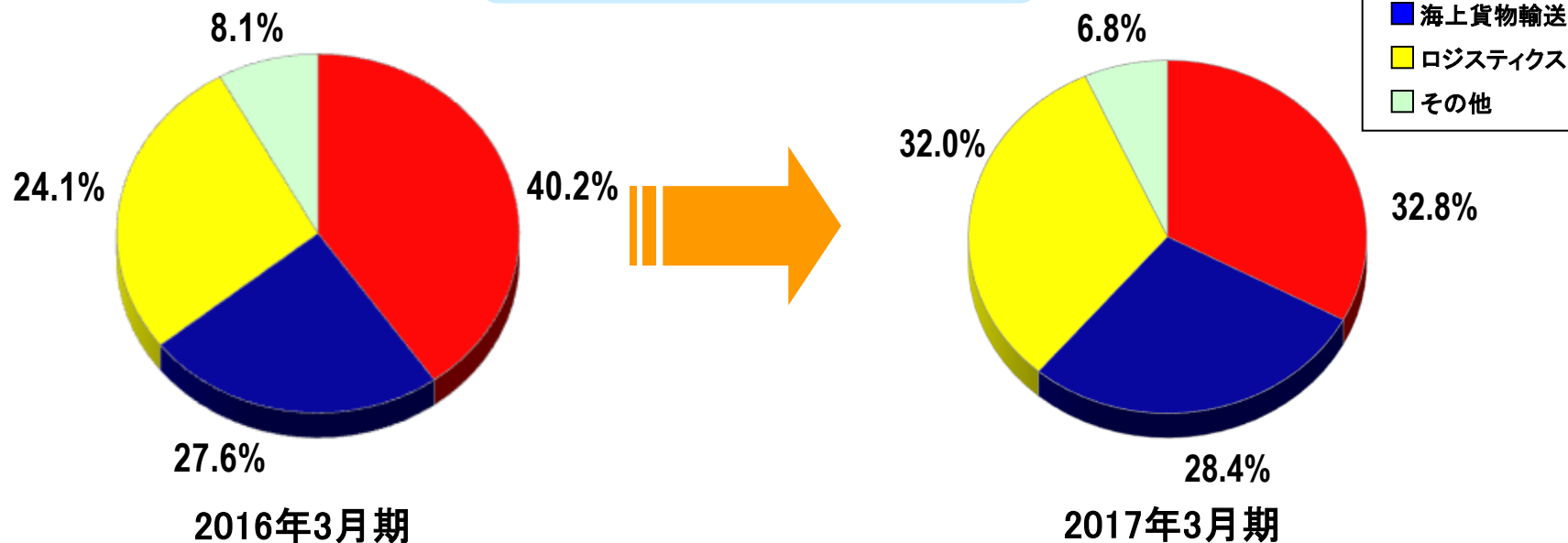
・ のれん等の償却前では2,671百万円の営業利益を確保するも、償却後では3,353百万円の営業損失を計上。

営業収入の事業構成比



営業収入の事業別内訳

営業収入の事業別構成比



(百万円)

各事業		2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (実績)	
		営業収入		営業収入	前年同期比増減率
貨物輸送事業	航空貨物輸送	168,768		155,486	△7.9%
	海上貨物輸送	115,961		134,991	16.4%
	ロジスティクス	101,380		151,680	49.6%
	その他	34,141		32,172	△5.8%
合計		420,252		474,330	12.9%

輸送モード別の営業粗利益率

* 営業粗利益 = 営業収入 - 直接原価

	2016年3月期 (2Q累計)	2016年3月期	2017年3月期 (2Q累計)	2017年3月期
航空貨物輸送	28.5%	29.3%	30.2%	30.0%
海上貨物輸送	22.1%	※ 27.8%	※ 30.8%	※ 31.0%

※APLLの海上貨物輸送に付随する受発注管理 (POマネジメント)、買付物流 (バイヤーズコンソリデーション) の加算により上昇。

2018年3月期業績見通し(予想)

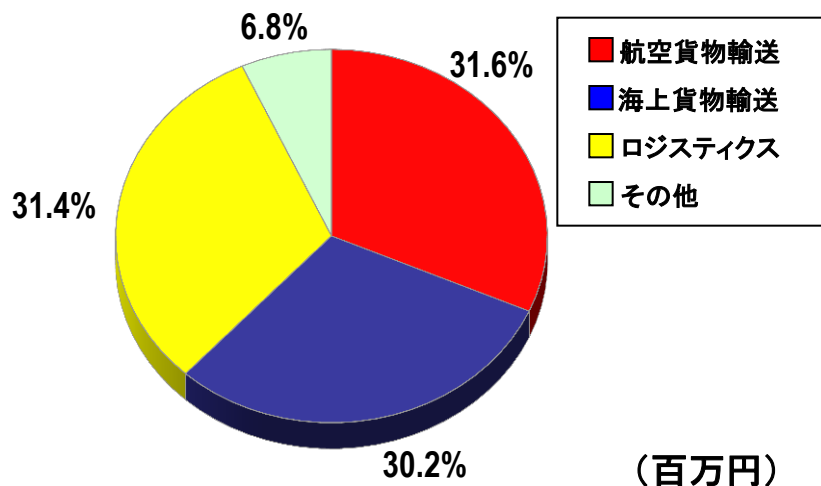
(百万円)

項目	2017年3月期(実績)		2018年3月期(予想)	
		前期比増減率		前期比増減率
営業収入	474,330	12.9%	500,000	5.4%
営業総利益	85,014	18.5%	87,946	3.4%
営業利益	13,075	△14.9%	13,500	3.2%
経常利益	13,036	△27.2%	13,000	△0.3%
税金等調整前 当期純利益	12,486	△30.0%	13,000	4.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,487	△54.1%	5,000	11.4%

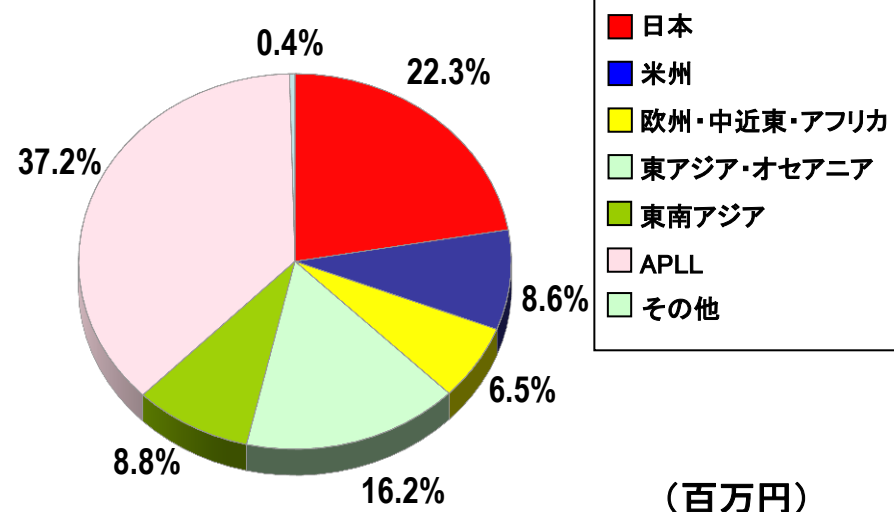
2018年3月期業績予想の事業別・セグメント別内訳

Global Logistics Partner

営業収入の事業別内訳



営業収入のセグメント別内訳



各事業		2018年3月期(予想)	
		営業収入	構成比
貨物輸送事業	航空貨物輸送	158,000	31.6%
	海上貨物輸送	151,000	30.2%
	ロジスティクス	157,000	31.4%
	その他	34,000	6.8%
合計		500,000	100.0%

セグメント別	2018年3月期(予想)	
	営業収入	営業利益
日本	114,000	4,110
米州	44,000	2,700
欧州・中近東・アフリカ	33,000	1,150
東アジア・オセアニア	83,000	4,500
東南アジア	45,000	2,450
APLL	190,000	4,230
のれん等の償却	—	△5,890
その他	2,000	250
調整額	△11,000	—
合計	500,000	13,500

今後の事業拡大に向けた施策

中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要

ビジョン

サプライチェーン・ソリューションの提供により、お客様の事業戦略を支えるパートナーになる。

スローガン

“ Going to the Next Phase !”
～航空貨物70万トン、海上貨物70万TEUに向けて～

2018年度数値目標 (2017年5月11日修正)

営業収入 : 5,680億円 営業利益 : 180億円

<戦略の柱>

業界で最も多彩なサービスを提供する

生産・消費市場でお客様の物流ニーズを実現する

コーポレート力を結集し生産性を高める

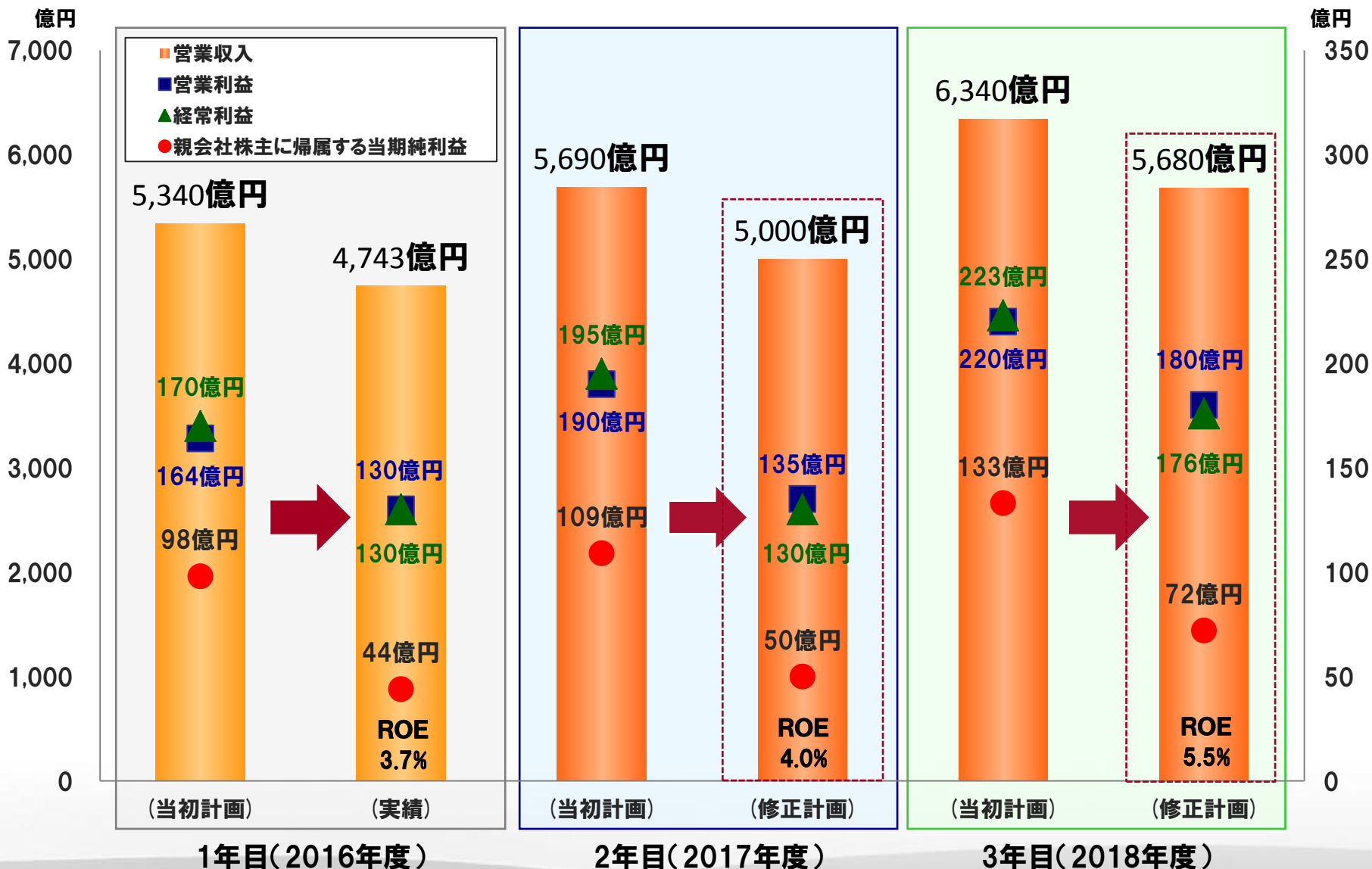
<戦略を支える経営基盤>

コーポレートリソースの
有効活用

コーポレトリスク
管理の強化

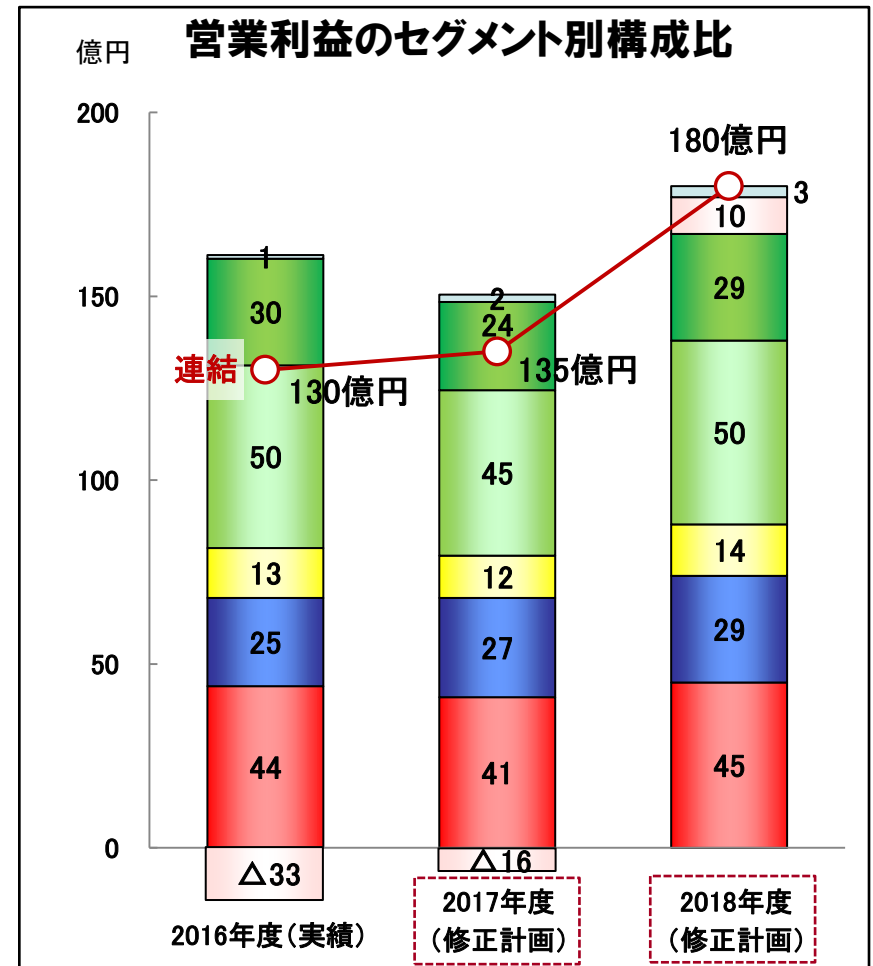
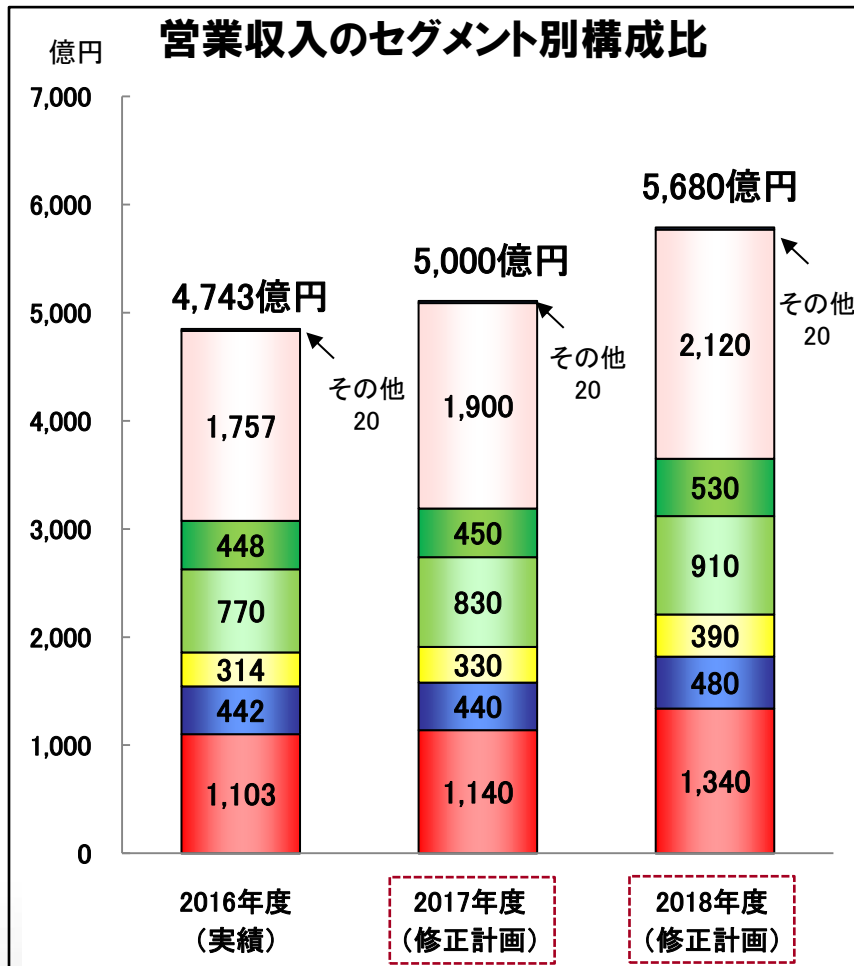
業務品質の向上

中期経営計画3カ年の実績と目標値(2017年5月11日修正)



セグメント別営業収入・営業利益の目標(2017年度、2018年度)

■日本 ■米州 ■欧州・中近東・アフリカ ■東アジア・オセアニア ■東南アジア □APLL ■その他



※営業収入の合計額は、内部消去を考慮しています(実績は111億円、修正計画は110億円)。

本中計3年間(2016年度～2018年度)は、KWE、APLLともに次の中計に向けた「体制整備を行う3年間」。

1. KWEとAPLLがそれぞれの事業領域で実力をつけ成長を目指すとともに、協業を通じて事業領域の拡大を図る。
2. KWEにとって最重点課題は、物量の拡大(航空・海上)。
グローバル・プレーヤーとして認知されるため、物量の拡大は不可欠。
最大の強みであるフォワーディング事業を強化することに原点回帰し、KWE単独での拡大に加え、APLLとの共同販売での成果を最大限創出することにより、収益性・利益確保を考慮しつつも、戦略的な意図をもって物量拡大を実現していく。
3. APLLにおいては、旧親会社からの分離に伴う経営基盤の強化の早期完遂を目指し
確実な体制整備を行う。

サプライチェーンを包括的に捉える中で、KWE・APLLが各々の事業領域でサービスを提供し、グループとして協業していく。

- APLLの大手顧客のフォワーディング・ビジネスの取り込み（KWEの物量拡大ドライバーへ）
- 海上事業の統一プラットフォームの構築（オペレーション、仕入れ等）
- 相互のグローバル・ネットワークを活用した提供サービスの補完推進
- グループとしてのITインフラの最適化



1. TPEB (Trans-Pacific East Bound、アジア→米州) の物量の拡大

2. 欧米系企業とのビジネス拡大 - コーポレート・アカウントとのビジネス拡大

3. 品目別営業戦略の推進

エレクトロニクス : 半導体・製造装置、電子部品の深耕(AI、IoT)

自動車 : EV、自動運転技術等に伴うエレクトロニクス関連品の輸送需要の拡大(既存エレクトロニクス顧客からのビジネス拡大)

ヘルスケア : 日本向けでの実績を他地域に拡大

リテール/コンシューマー : APLLのチャネルの活用

4. 将来を見据えたITシステムの検証

5. 収支改善に向けた取り組みの継続

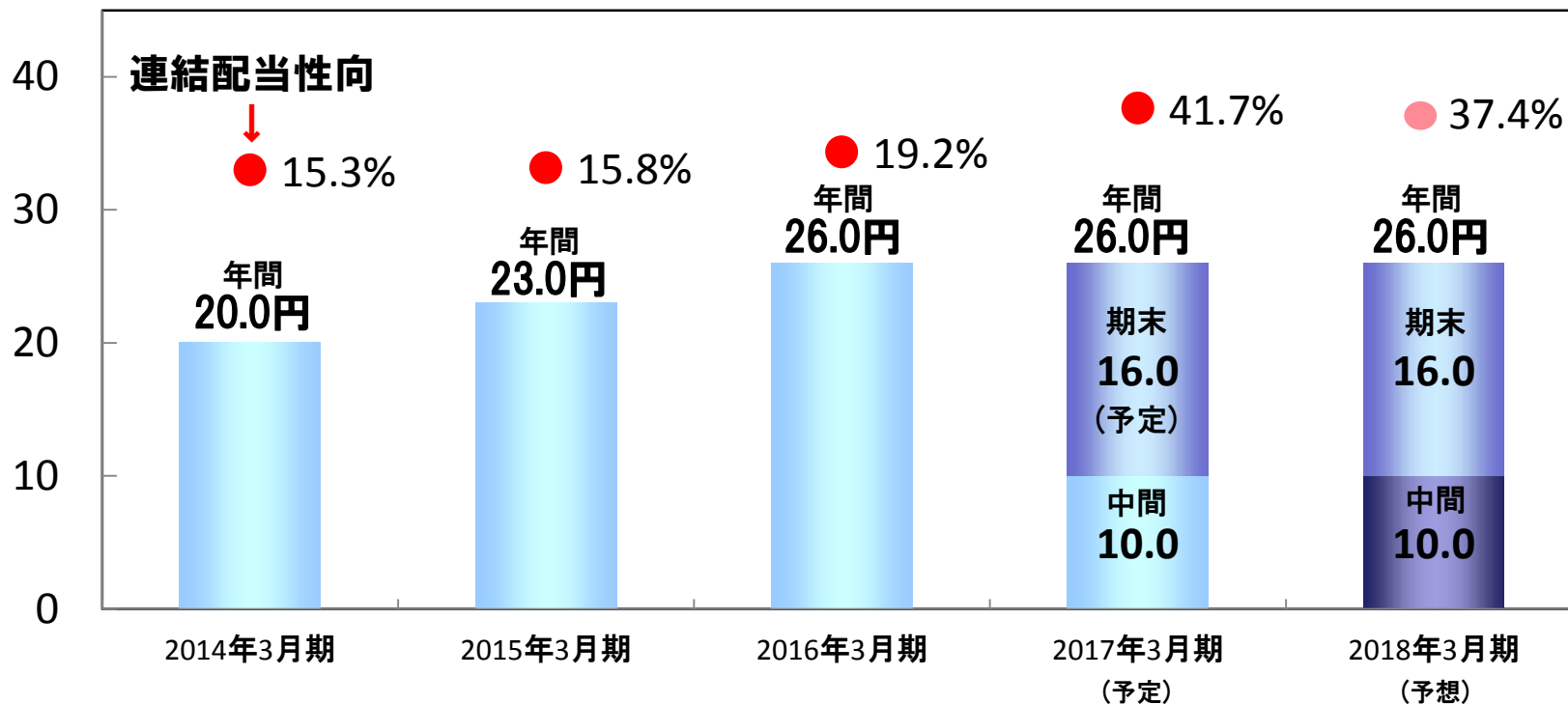
6. 最適なグループ経営に向けたグループガバナンスの強化

7. 人材の育成と人的資源の最適な配置

当社グループは、株主の皆様への利益還元の充実、将来の国内外での事業展開および経営基盤の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本に、各期の連結業績および配当性向等を考慮しながら増配に努めてまいります。

1株当たり年間配当金(円)

1株当たり配当金・連結配当性向の推移



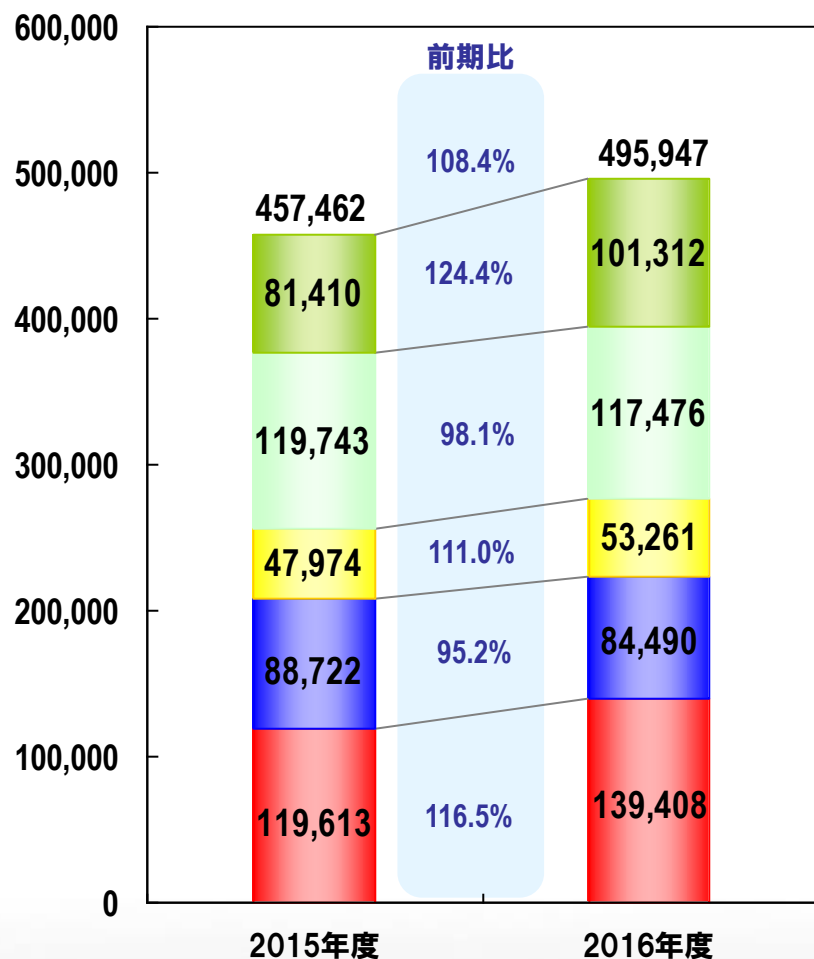
※当社は2015年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの1株当たり配当金は当該株式分割が2014年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

参考資料

セグメント別物量実績 (航空)

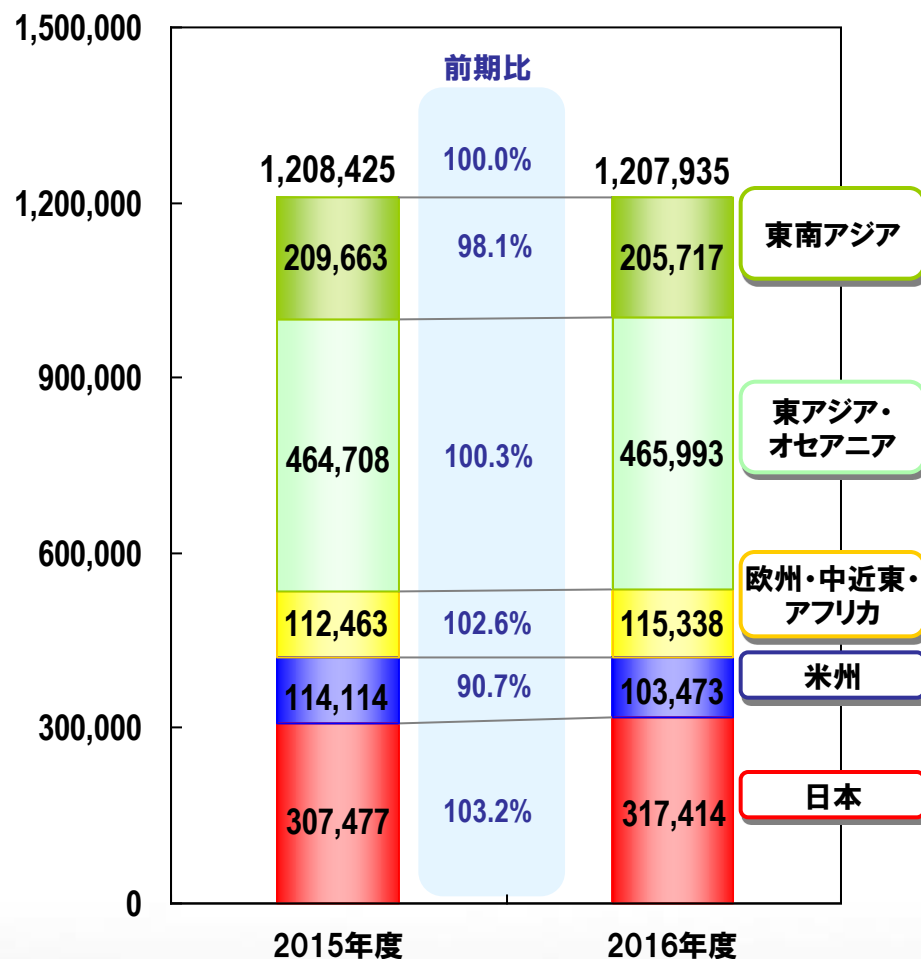
航空輸出

(重量:トン)



航空輸入

(件数)

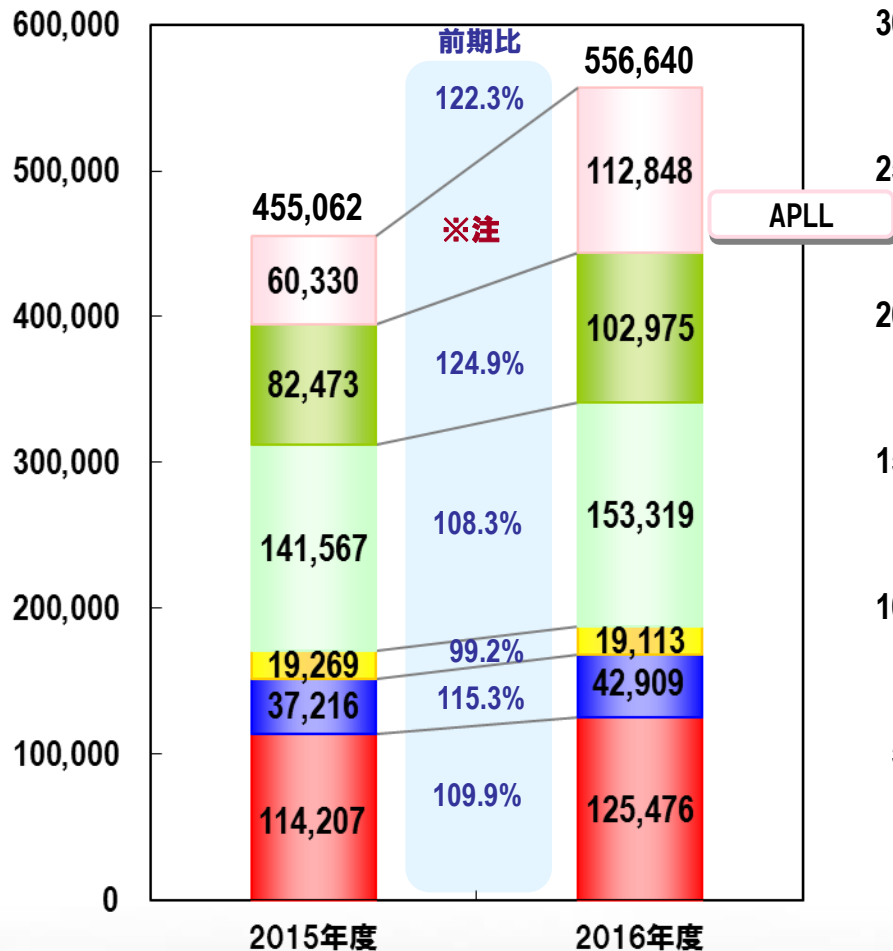


※上記の前期比は、日本を除き2015年1月～12月と2016年4月～2017年3月の比較であります。(P2の※1をご参照)

セグメント別物量実績 (海上)

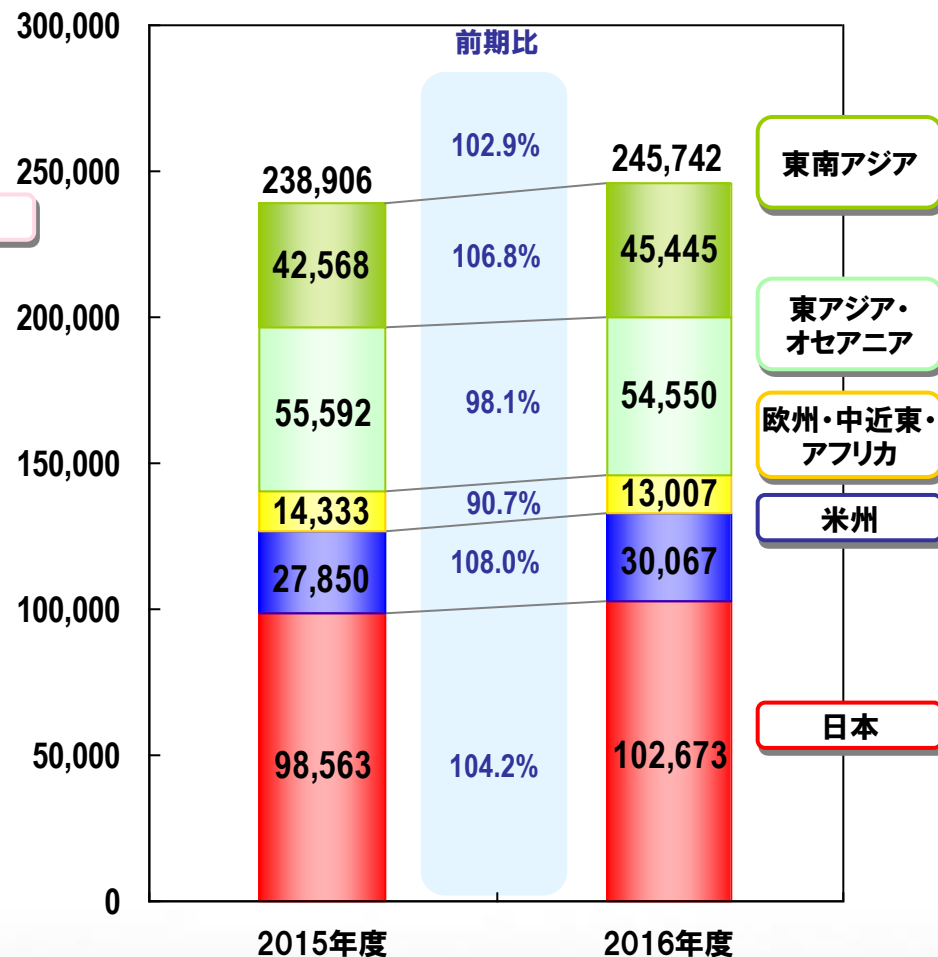
海上輸出

(容積:TEU)



海上輸入

(件数)

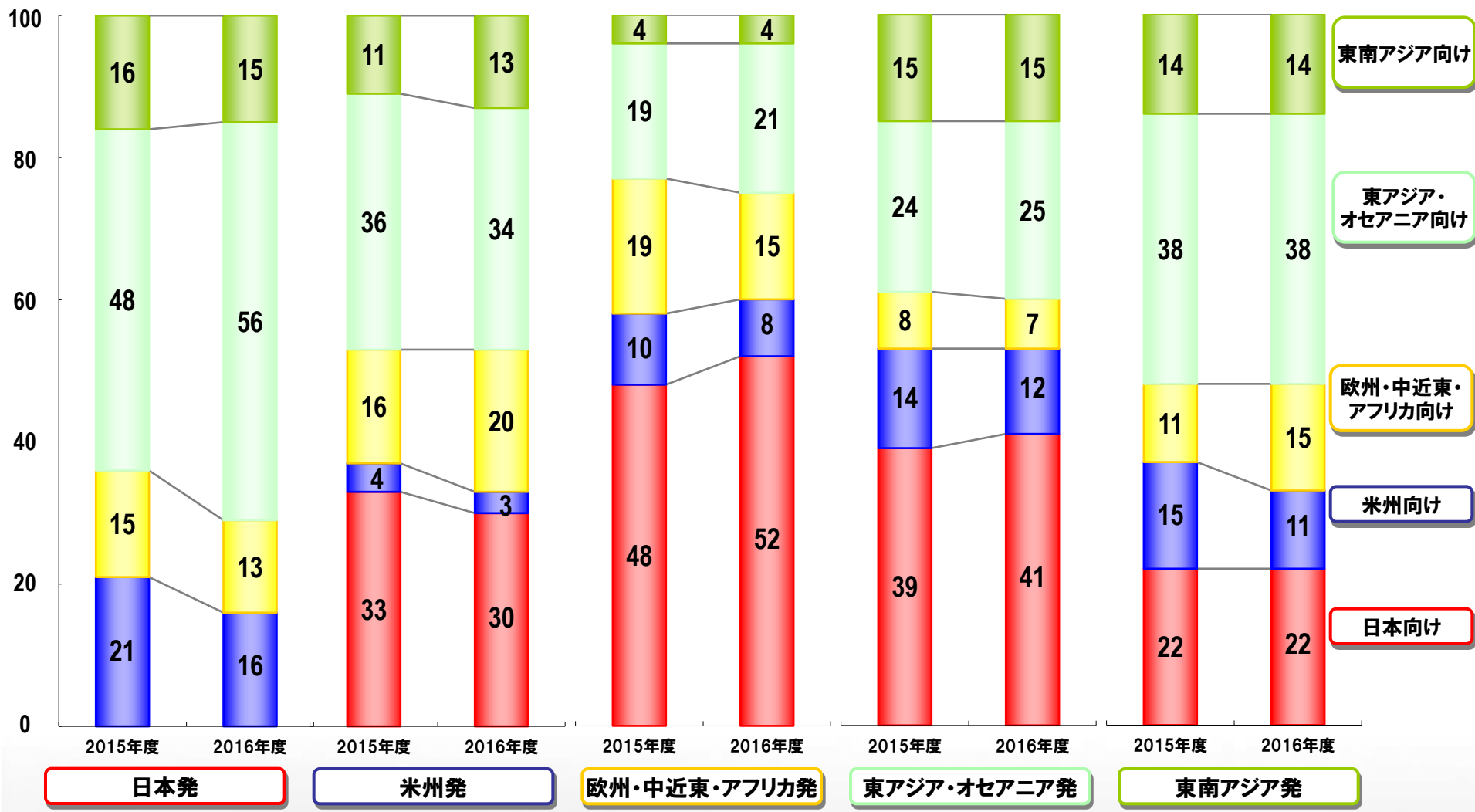


※上記の前期比は、日本とAPLLを除き2015年1月～12月と2016年4月～2017年3月の比較であります。(P2の※1をご参照)

※注: APLLは2015年度第3四半期より連結しているため、2015年度と2016年度の比較は省略しております。

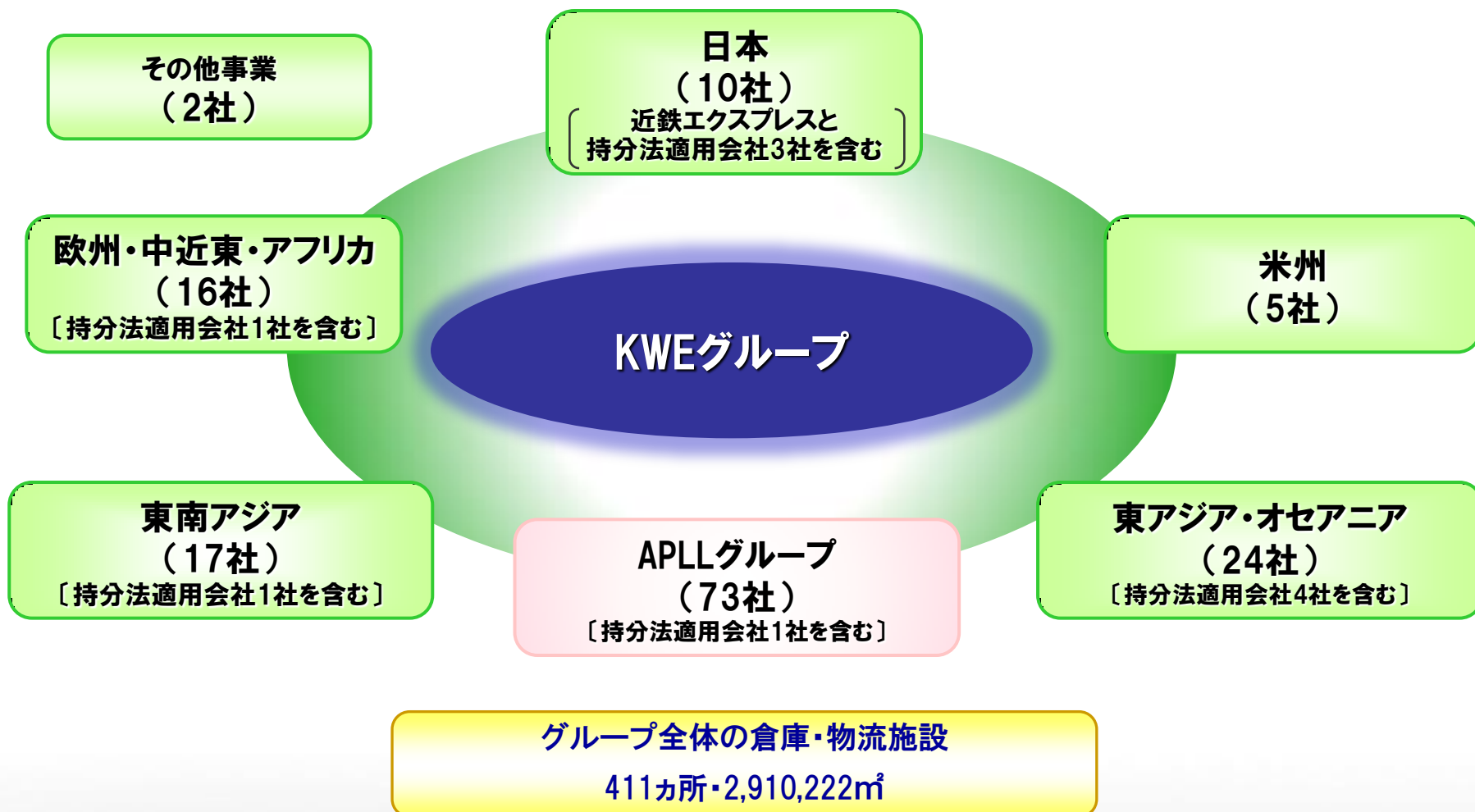
航空輸出物量取扱実績（仕向地別構成比）

（構成比：％）



当社グループのグローバル・ネットワーク

世界 46ヵ国 351都市 848拠点（2017年3月31日現在）



さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス 総務部 IR担当 木村、高橋

TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501

ホームページ <https://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。